

2020年を 振り返って。



代表取締役社長 大橋 和則

2020年は世界史に残る一年
になってしまいました。

新型コロナウイルスにより影響
を受けられた皆様に、心よりお見
舞い申し上げます。

未知のウイルス新型コロナウイルスで
始まり、解決の糸口も見えず今年
が終わろうとしています。まるで
SF映画を見ているかのような状
況が世界を席捲していきました。
グローバル化した私たちの生活を
あざ笑うかのように、増えたり減つ
たりする様は、人類への問いかけ
のように感じます。

コロナ禍での営業

そんな中での店の営業は、お
客様や従業員の感染リスク対策を
し、如何に安心してご購入物をし
て頂けるか手探り状態でした。

特に感謝デーは3密になる為、
中止すべきか悩みましたが、こん
な時だからこそ体に良い食品で自
己免疫を上げ、経済的負担を少し
でも減らして頂くためにも、売り
出しの日程を延長するなどの対策
をしながら実施させて頂きました。

5月に、緊急事態宣言でイベン
トや密集を避ける様指示が出た時
には、流石に悩みましたが、「元気



アップ期間」と称して13日間のロ
ングランで対応いたしました。

援農も3密防止で

4月からの援農企画も、車の中
での感染リスクが高まるために、
乗車人数を制限し、開催。10月下
旬までに延べ270人ほどにご参
加頂き、感謝いたします。

新サプリとコロナ対策

5月には今の時代に合った新サ
プリ「マハフアラ」を発売。従
業員も感染リスクが高まるリスク
を避けるため、毎日健康チェック



しながら、新サプリを飲んで対応しています。

又、新型コロナウイルスに対する食生活の指導が、その当時ほとんど無い中、顧問による「対策と予防」を発刊。評判良く増刷することになりました。

念願の焙煎機導入

7月には永年の夢だった珈琲焙煎機を本店に設置。8月よりエリクサーセラミックを使用した遠赤効果とエネルギーの高いオンラインワンのオリジナル焙煎を開始。珈

琲の他、アーモンド・黒煎り玄米「無玄心」を焙煎。

手稲東小学校にクラウドファンディング

同じ7月に手稲東小学校にクラウドファンディングでクーラー設置に協力させて頂きました。(一部エリクサー基金より)

ミセスにパンが

9月、全国紙「ミセス10月号」で、発酵学者の小泉武夫先生の推薦でまほろばのパンが紹介され、遠方より多数ご注文頂き現在も継続中です。

年末に新商品

12月、まほろば自然農園の大根



を使用した甘い切干大根「干しほしすずしろ」(「ホロホロおひがし」のお菓子を兼ねて)を新発売。オリジナル自家焙煎ブレンド珈琲「XAOΣケイオス」シリーズ1モデルード誕生。それぞれ、一度お試し頂けましたら幸いです。



混迷の時代だからこそ

コロナ禍の中でも何が出来るかを常に考え、前向きに取り組んできた一年でした。

又、今まで取って政治問題や歴史問題には余り意見を言わないで来ましたが、昨今の世界情勢や日本の現状を客観的に捉え、将来の日本や子供たちの事を考えた時、このままでは日本が日本でなくなってしまう危機感を強く感じ始めています。あらゆる形で第三次世界大戦がすでに始まっています。このような主張をまほろばから出すべきか役員で協議しましたが、混迷の時代だからこそ報せるべきと判断し、会長・顧問より発信し始めました。

私たちはどこへ向かうのか

何が正しくて何が間違っているのか? 私たちはどこに向かいどう生きて行くのか?

コロナ禍の中で更に価値観を変えて行かなければならない時代に突入してきたと感じます。

今後も今までの常識に囚われることなく、様々な情報を、食を通して「まほろばらしさ」でお伝えしていきたいと思えますので、更なるご愛顧のほどよろしくお願ひ申し上げます。

本年もありがとうございます!

2021年は、新型コロナウイルスが収束し、皆様にとって素晴らしい年になりますよう祈念いたします。簡単ではございますが、年末の挨拶とさせていただきます。

